

令和2年度 第1回横手市地域公共交通活性化協議会 会議録（概要）

日 時 令和2年6月26日（金） 14:00～15:10

場 所 横手市役所本庁舎 2階 第一会議室

出席者 21名（うち随行者2名）

欠席者 2名

事務局 3名

○開会

事務局 これより第1回横手市地域公共交通活性化協議会を開会する。

○会長あいさつ

会長 本日は足元の悪い中お越しいただき感謝申し上げます。また、委員改選の年ということもあり、新たに委員となっていた方々には御礼申し上げます。

世はコロナ禍というところであるが、協議会の開催には影響が少なく、例年通りの開催となっている。新しい生活様式、新しい関係のもと経済が動き出しているところであり、中止・自粛となっていたイベントについても段階的に緩和されていくということで、「ウィズコロナ」への移行期に入ったとらえている。横手市においても3回にわたる経済対策を行い、地域経済の維持、回復を支えていきたいところである。

協議会の委員でもある羽後交通株式会社・秋田県ハイヤー協会湯横雄平支部におかれては、大変厳しい状況下であることは重々承知しているところである。市としても事業者への支援を経済対策の中に盛り込んでいるところであり、地域公共交通の一翼を担っていただいているということで、今後ともよろしく願いたい。

第一回ということで、決算状況、予算案等について審議いただくとともに、次年度の計画についても審議いただく流れとなっている。限られた時間だが、よろしく願いたい。

○副会長・監査委員指名

会長 設置要綱第5条第2項により、副会長は会長が指名することとなっている。本日も欠席となっているが、秋田県観光文化スポーツ部交通政策課の橋本委員に副会長となっただけの旨、あらかじめ了承いただいている。

また監査委員についても、会長が指名することとなっており、秋田県ハイヤー協会湯横雄平支部の佐藤委員、平鹿地域代表の菊地委員にお願

いすることとしたい。

○報告

報告① 令和元年度デマンド交通・循環バス・公共交通利用回数券の実績について
(事務局から資料に基づき説明)

事務局 ただいまの説明に対し、ご質問・ご意見等があればお願いしたい。

(質問・意見なし)

報告② 自家用有償旅客運送「柏木・大森病院線」実施状況について
(事務局から資料に基づき説明)

事務局 ただいまの説明に対し、ご質問・ご意見等があればお願いしたい。

柴田委員 バスの乗車人数について、多くはないが確実に居ることによってよいことだと思う。また、説明にあった下開地域については乗車がないということだったのでルートの見直しをお願いできればと思う。

バスについて、ステップの低い車両と高い車両があると思われる。現在使用しているバスはステップの高い車両であり、乗降に不自由なところがあるようなので、もし低いステップの車両が使用できるのであれば、そちらを使うことも考えてもらえたらと思うがどうか。

事務局 乗客は高齢者が多いため、そのような車両を使えるならばその方がよいと考えている。現在、バスは明峰中に保管されている車両を使用しているため、ステップの低い車両があるか、というところから確認してまいりたい。

○議事

議案第1号 令和元年度横手市地域公共交通活性化協議会決算について
(事務局から資料1に基づき説明)

会長 ただいまの説明に対し、ご質問・ご意見等があればお願いしたい。

(質問・意見なし)

会長 特段ないようであるので、議案第1号 令和元年度横手市地域公共交

通活性化協議会決算について、承認することとしたい。

議案第2号 令和2年度横手市地域公共交通活性化協議会予算（案）について
（事務局から資料2に基づき説明）

会長 ただいまの説明に対し、ご質問・ご意見等があればお願いしたい。

（質問・意見なし）

会長 特段ないようであるので、議案第2号 令和2年度横手市地域公共交通活性化協議会予算（案）について、承認することとしたい。

議案第3号 令和3年度横手市生活交通確保維持改善計画（案）について
（事務局から資料3に基づき説明）

会長 ただいまの説明に対し、ご質問・ご意見等があればお願いしたい。

佐藤委員 以前も同様の質問があったと思うが、計画内「6. 補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称」に末広自動車が無い理由について改めて説明いただきたい。

事務局 国庫補助金の計算の中でデマンド交通に関する経理を計算した際に、収支が黒字になった場合に補助対象から外れ、それ以降も対象にならないという仕組みであることから、記載されていないものである。

会長 他にないようであるので、議案第3号 令和3年度横手市生活交通確保維持改善計画（案）について承認することとしたい。

○その他

加賀谷委員 新型コロナウイルス感染症の流行にあたり、デマンド交通等の利用者は減っているのか。時期も含め情報があれば教えていただきたい。

事務局 デマンド交通の実績については、新型コロナウイルス感染症の影響を3か月分程度前年比として分析しているところである。3月は-2.7%程度であるが、4月は-20.3%と2割程度減少している。これが5月に入るとやや緩和され-12.4%となっており、少しずつ利用者は戻ってきているようである。

事務局 本日、事業者の方々にも委員として出席いただいていることから、よろしければ、事業者の側から新型コロナウイルス感染症流行の影響についてお話しいただきたい。

平元委員代理 羽後交通についてお話しする。2月末頃から始まった感染症の流行であるが、3月までとなる令和元年度決算については影響する月が少なかったため、そこそこの数字が出ている。その後の今年度、4月5月の状況であるが、乗合バスは前年比68.6%となっており、高速バスは殆ど運行していなかったため、前年比10%、9割減という状況である。一番影響が大きかったのが貸切バスであり、関東・近畿方面からの来客、田沢湖地区の観光路線、特にインバウンド関連等が皆無となってしまったことから、損失は約5,300万円である。この2か月間で運輸成績のマイナスが約1億2,400万円となっている。

今後の動きが懸念される場所であるが、マスク着用やアルコール消毒等の感染予防に努めながら、高速バスについては7月16日から平常運行することとしている。ただ、ここ数日でまた東京都内の感染者数が増加してきているため、第2波、第3波を警戒しつつ、早期の収束を願っている状況である。

佐藤委員 自社の情報となるが、タクシー関係についてお話しする。実績について、2月は-3.2%、3月は-28.2%、4月は-38.5%、5月が少し回復して-21.3%となっており、夜の利用が少なかったこと等もあり前述の状況となっている。

地域の皆様におかれては、病院への通院受け入れ状況がもとに戻ってきていることもあり、また、事業者として安全に運行してまいりますので、ぜひデマンド交通利用をお願いしたい。